

2026年度

外国人留学生のための

東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

本学所定の出願様式は本要項に添付している。

2025年7月

東 京 藝 術 大 学

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
入試情報サイト

<https://admissions.geidai.ac.jp/>

受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡によって多少変更することがある。その場合、2025 年 9 月 15 日(月)午後 2 時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を本学「入試情報サイト」で発表するので、受験者本人が必ず確認すること。（「7. 試験日程」を参照のこと。）
- (2) 試験に関する諸事項は、本学「入試情報サイト」により発表するので、常に注意すること。なお、記載された番号は、本学受験票の番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示によること。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。（万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。）
- (5) 試験当日、受験者（伴奏者含む）は、試験に関する掲示により発表された「集合場所及び控室」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 以下の行為を禁じる。違反した場合は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めないことがある。
 - ・「集合場所及び控室」での発声または楽器の練習
 - ・「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等での発声または楽器の練習
 - ・音出し室、控室にあるピアノの使用（ただし、ピアノ研究分野受験者及び各専攻等の伴奏者は、係員の指示に従うこと。）
 - ・本学建物内での全ての録音及び写真・映像等の撮影
 - ・携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用
 - ・志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用
- (8) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (9) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等を持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (10) 食事のために学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (11) 試験に関する電話による問い合わせには、原則として応じない。
- (12) 本学に駐車場はない。
- (13) 合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」にて掲載する。音楽学部内の掲示は行わない。

目 次

1. 大学院音楽研究科（修士課程）アドミッション・ポリシー	1 ページ
2. 出 願 資 格	1 ページ
3. 募集する専攻・研究分野および募集人員	2 ページ
4. 標準修業年限	2 ページ
5. 選 抜 方 法	2 ページ
6. 試 験 科 目	2 ページ
7. 試 験 日 程	3 ページ
8. 出 願 手 続	4 ページ
9. 選 抜 試 験 場	16 ページ
10. 合 格 者 発 表	17 ページ
11. 入学手続き等について	18 ページ
12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	19 ページ
13. 修学支援奨学金（給付型）について	20 ページ
14. そ の 他	21 ページ
15. 試験科目および可否判定基準	22 ページ
16. 試験内容および課題曲等	24 ページ
17. 個人情報の取り扱いについて	47 ページ

受験曲目提出用紙	添付
実技担当教員希望届	添付
志望理由書	添付
研究計画書	添付

1. 大学院音楽研究科（修士課程）アドミッション・ポリシー

音楽研究科修士課程は、学士課程と比較して、より深い理解と解釈に基づいた質の高い演奏表現・技術を持った演奏家、ならびに幅広い見識や関心に支えられたより深化した専門研究を展開出来る人材を求めています。そのために選抜試験においては、実技、音楽史、語学、面接、小論文等を総合して行い、多角的にその実力を評価します。

2. 出願資格

出願できる者は、外国の国籍を有し、次の各項の1つに該当する者で、かつ、以下の（1）または（2）に該当するもの

1. 学校教育法（1947年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（2026年3月までに卒業見込の者を含む。）
2. 学校教育法（1947年法律第26号）第104条第7項の規定（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む。）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む。）
4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む。）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む。）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む。）
7. 文部科学大臣の指定した者（1953年文部省告示第5号、1955年文部省告示第39号、第1号第2号参照）
8. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む。）
9. 出願資格1～8に該当しない者のうち、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

（1）下記の①および②の条件を満たしている者

①大学を卒業した者（2026年3月までに卒業見込の者を含む）もしくは大学を卒業していな

いが、それと同等以上の学力があると認められる者で、出願する下記3の専攻・研究分野の専攻者またはそれと同等以上の能力があると認められるもの

②本学大学院の講義および演習を十分に理解できる程度の日本語の能力があると認められる者

※上記出願資格（1）①の下線部分に該当する者（大学を卒業していない者）は、事前に出願資格審査を受ける必要があるため、至急音楽学部学生募集係に必要書類を請求し、次の期間に提出すること。

提出期間：2025年7月11日（金）まで

提出先及び問い合わせ先：音楽学部学生募集係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

TEL 050-5525-2309

（2）国費外国人研究留学生であって、かつ6ヶ月以上国費外国人研究留学生として本学に在学していた者

3. 募集する専攻・研究分野および募集人員

専攻	研究分野	募集人員
作曲	作曲	各若干名
声楽	声楽	
オペラ	オペラ	
器楽	ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽・室内楽・古楽	
指揮	指揮	
邦楽	三味線音楽・箏曲・尺八・能楽・能楽囃子・邦楽囃子・日本舞踊	
音楽文化学	音楽学・音楽教育・音楽文芸・音楽音響創造	

〔注意〕

（1）志願者は、志願する専攻中の1つの研究分野に限り出願することができる。

（声楽及びオペラは、声種1つを選択する。室内楽は、個人・グループのいずれかを選択する。）

（2）三味線音楽研究分野には、次の専門種がある。

長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元

（3）本要項による募集と、別枠の修士課程の募集は併願できない。

4. 標準修業年限

2年

5. 選抜方法

試験科目の成績、および提出された書類等の各資料を総合して判定する。

6. 試験科目

後掲「試験科目および可否判定基準」、「試験内容および課題曲等」を参照すること。

※過去2年分の入試問題は、本学入試情報サイトから閲覧できる。

※課せられた科目を1つでも受験しなかった者は、失格（不合格）となる。

7. 試験日程

日付	作曲	声楽	オペラ	器楽						指揮	邦楽	音楽文化学			
				ピアノ	オルガン	弦楽	管打楽	室内楽	古楽			音楽学	音楽教育	音楽文芸	音楽音響創造
2025/8/22(金)	作品提出／正午まで														
2025/9/15(月)	日程等発表／14:00 以降									第1次合格発表・日程等 発表／14:00 以降	日程等発表／14:00 以降				日程発表
2025/9/16(火)					試奏日（レジ スター・タイ ム）			実技・面接	Borg 試奏日 ／（レジスタ ー・タイム）						
2025/9/17(水)	作品審査・筆記試験・ 口述試験 音楽教育（作曲）の作 品審査・筆記試験・口 述試験				試奏日（レジ スター・タイ ム）				Borg 試奏日 （レジスター ・タイム）				楽器等の実技試験 （作曲）		
2025/9/18(木)		実技（専攻論文 を含む）・面接	実技（専攻論文 を含む）・面接		実技・面接				BOrg 専攻実 技／FP・ Cemb 試奏日 ／専攻実技				楽器等の実技試験 （声楽・ピアノ オルガン・Borg）		
2025/9/19(金)						実技・面接	管打楽実技・ 面接		専攻実技 （BOrg 通奏 低音を含む）		実技・面接		楽器等の実技試験 （ピアノ・弦楽 管打楽・古楽・ 邦楽）		
2025/9/20(土)				実技・面接		実技・面接							楽器等の実技試験 （ピアノ・弦楽）		筆記試験
2025/9/21(日)										実技・面接		音楽学	音楽学の筆記試験 （音楽学）		
2025/9/22(月)												日程等発表／14:00 以降			
2025/9/23(火)															
2025/9/25(木)														専攻論文	口述試験
2025/9/26(金)												口述試験	専攻論文・ 口述試験	口述試験	口述試験
2025/9/30(火)	最終合格者発表／14:00 以降														

（注）①試験に関する諸事項（日程・集合時刻等）および合格者発表は、本学「入試情報サイト」により行う。

②上記の試験日程は、出願者の状況によって変更する場合があるので、必ず受験者本人が上記日程表に記載の日程等発表日に確認すること。

8. 出願手続

(1) 出願手順・方法

本学の大学院入学試験の出願方法は、「インターネット出願」とする。出願手続の手順・方法は以下のとおりである。①、②を指定された期間内に行い、③を受付期間内に本学に郵送すること。

到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となる。出願が受理されると「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。(④)

①	インターネット出願登録 (詳細は 8 ページ参照)	パソコン等で本学の「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録すること。
---	-------------------------------------	--



②	入学検定料の支払い (詳細は 10 ページ参照)	①の完了後、「インターネット出願サイト」の指示に従って、入学検定料を支払うこと。
---	------------------------------------	--



③	必要書類の送付 (詳細は 12 ページ参照)	②の完了後、本学の「入試情報サイト」から必要書類を印刷し、他の必要書類とともに本学に郵送すること。
---	----------------------------------	---



④	受験票の印刷 (詳細は 15 ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参すること。
---	---------------------------------	--

(2) 出願登録期間・入学検定料支払期間・必要書類受付期間

インターネット出願登録期間	入学検定料支払期間	必要書類受付期限
2025年7月25日(金) 10:00から 2025年7月31日(木) 23:59まで	2025年7月25日(金) 10:00から 2025年7月31日(木) 23:59まで	2025年7月31日(木) までの 消印があるものを受け付ける。

(注) 出願書類を直接大学に持参したものは、上記期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受け付けない。

必要書類等郵送先
東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部学生募集係 TEL 050-5525-2309
Where to submit required documents by post (from overseas)
Admission Section of the Faculty of Music
Tokyo University of the Arts
12-8 Ueno Koen, Taito-ku, Tokyo, Japan 110-8714
Tel:+81(0)5055252309

(3) 出願上の注意

- ・インターネット出願は、「インターネット出願サイト」からの登録だけでは出願手続完了にはならない。**入学検定料**（10 ページ参照）を支払期間に支払い、**必要書類**（12 ページ参照）を受付期限までに**書留・速達郵便**にて本学に郵送する必要がある。
- ・日本国内から郵送する場合、書留・速達郵便はポスト投函では受付されないため、必ず郵便局の窓口で郵送すること。
- ・必要書類を日本国外から郵送する場合は、提出期限までに書留・速達郵便に準ずる方法で本学に郵送すること。
- ・出願時に申請された学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合がある。
- ・入学検定料支払後は、登録内容を一切変更できないため、誤入力のないよう注意すること。また、出願登録完了後はいかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・出願にあたり不明な点がある場合は、必ず 2025 年 7 月 31 日（木）17 時までに音楽学部学生募集係へ問い合わせること。

インターネット出願する前に必ず確認すること	
パソコン等の動作環境の確認	インターネット出願は、以下の環境で行うこと。 【PC 利用時推奨ブラウザ】 ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えること。 【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】 ・ iOS 12 以降 ・ Android OS 8 以降 ・ iPadOS 13 以降 ※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。 ※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。 ※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用すること。 【プリンター】 ・ カラー印刷ができるプリンター ※ 「インターネット出願サイト」から印刷する「受験票」には写真が含まれるため、必ずカラー印刷すること。

インターネット出願する前に必ず確認すること

メールの設定	登録されたメールアドレスにメールが以下 4 回 送信される。 ① 初期パスワードおよび本登録用 URL の通知メール ② インターネット出願登録完了時の自動返信メール ③ 入学検定料支払い完了時の自動返信メール ④ 受験票が印刷可能になった際の通知メール その他、試験当日自然災害による試験の中止等入試に関する緊急連絡事項を送信する場合がある。 メールは no-reply@e-apply.jp から送信される。あらかじめ受信できるように設定しておくこと。				
写真の用意	出願には顔写真データ（2MB まで）が必要である。 明らかに志願者本人であることが認められる単身、脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前 3 か月以内に撮影した、カラー写真データを用意すること。（右図参照） ・提出する写真は縦長であること。（比率は縦 4，横 3 が望ましい。） <使用できない写真の例> ・既存の写真を再度撮影したもの、不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているもの等 ※横向きの画像データは、向きを縦に変更してからアップロードすること。 				
書類の用意	<table border="1"> <tr> <td>出願資格を証明する書類</td><td> ③ 必要書類の送付（12 ページ）を参照の上、成績証明書等、出願に必要な提出書類は、提出期限内に間に合うようあらかじめ用意すること。 </td></tr> <tr> <td>その他 出願に必要な書類</td><td> 志願する専攻・研究分野に応じて提出書類が異なる。 「入試情報サイト」の「各種様式」のページよりダウンロードできるので、出願に必要な書類を事前に確認し用意すること。 ※「各種様式」ページへのアクセス方法：「入試情報サイト」→WEB 出願→各種様式 </td></tr> </table>	出願資格を証明する書類	③ 必要書類の送付（12 ページ）を参照の上、成績証明書等、出願に必要な提出書類は、提出期限内に間に合うようあらかじめ用意すること。	その他 出願に必要な書類	志願する専攻・研究分野に応じて提出書類が異なる。 「入試情報サイト」の「各種様式」のページよりダウンロードできるので、出願に必要な書類を事前に確認し用意すること。 ※「各種様式」ページへのアクセス方法：「入試情報サイト」→WEB 出願→各種様式
出願資格を証明する書類	③ 必要書類の送付（12 ページ）を参照の上、成績証明書等、出願に必要な提出書類は、提出期限内に間に合うようあらかじめ用意すること。				
その他 出願に必要な書類	志願する専攻・研究分野に応じて提出書類が異なる。 「入試情報サイト」の「各種様式」のページよりダウンロードできるので、出願に必要な書類を事前に確認し用意すること。 ※「各種様式」ページへのアクセス方法：「入試情報サイト」→WEB 出願→各種様式				
封筒の用意	必要書類郵送のために、市販の角 2 封筒（240mm×332mm）を用意すること。 「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に貼付すること。 ※別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。				
用紙の用意	本学「インターネット出願サイト」から印刷する書類等は A4 サイズに印刷する。 A4 サイズの普通コピー用紙（白）を用意すること。				

※「インターネット出願サイト」上の「事前準備」も併せて確認すること。

○インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話：0120-202-079（平日 10:00～18:00 土・日・祝日・年末年始を除く）（日本語のみ）

E-mail：cvs-web@career-tasu.co.jp（日本語・英語対応可）

※入試に関する質問は不可

※出願期間中は 24 時間対応（電話のみ）

○入試に関する問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部学生募集係 Mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp Tel：050-5525-2309

（平日 9:00～12:15, 13:30～17:00 土曜・日曜・祝日・本学の夏期休業期間・年末年始を除く。）

※やむを得ない場合を除き志願者本人がメールにて問い合わせをすること。

※障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は事前に連絡し、2025 年 7 月 11 日（金）まで申請書に医師の診断書を添え、音楽学部学生募集係に相談すること。その結果必要な場合には志願者との面談を行う。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要となった志願者もすみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。なお、申請書及び診断書は本学入試情報サイトの「受験上及び修学上の配慮申請」に掲載されている書式を用いること。

(4) 出願手順・方法の詳細

① インターネット出願登録

出願登録期間内に「入試情報サイト」の「Web 出願」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」をクリックして出願に必要な情報を登録する。最初に、「インターネット出願サイト」トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を始めること。

手順	
「インターネット出願サイト」 (https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) にアクセス ▼	
マイページ登録	・「マイページ登録」(オレンジ色のボタン)をクリック ・入力画面に従い、個人情報等を事前登録する。 ▼
志願先登録	・マイページログイン後の「出願手続きを行う」をクリック ・「音楽学部・音楽研究科」, 「音楽研究科(修士課程)(外国人留学生入試)」を選択する。 ・出願する専攻, 研究分野等を選択する。 ▼
個人情報の登録・審査書類のアップロード ・マイページ登録の際に登録した氏名, 現住所等の個人情報内容を確認すること。その他, 必要事項を全て入力すること。 * 写真のアップロード: カラーの顔写真データを用意し, アップロードすること。(6 ページ参照) * 学歴については, 卒業証明書などの学歴が確認できる証明書を確認しながら入力し, 学校名・卒業年月等に誤りがないようにすること。 ▼	
出願内容の確認	決済情報の他, 入力した内容の確認画面が出る。内容をよく確認し, 誤りがなければ「この内容で登録する」のボタンをクリックする。 ▼
出願登録完了	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了となる。 登録したメールアドレスに出願登録完了メールが届くので確認し, 「引き続き支払う」をクリックし, 支払手続に進む。

※インターネット出願登録完了メールには受付番号が表記されているので, 入試終了まで大切に保管すること。

※出願登録後にメールアドレスを変更してしまうと, 受験票印刷可能の通知メールが受信できなくなるので注意すること。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

1. インターネット出願登録完了時に表示される 12 桁の「受付番号」は、受験番号ではない
2. 登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックし、改めて出願登録および入学検定料の支払いをすること。誤った出願登録の入学検定料については、返還請求をすることができる。入学検定料の返還請求については 11 ページを確認すること。
3. 出願登録した日から起算し、その 4 日後の 23 時 59 分までに支払手続を行わない場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
※ただし出願登録完了日が支払期限締切日まで 4 日未満の場合は、支払期限締切日時が優先される。
4. 写真は出願写真として適切でないと判断された場合、再提出を求める場合がある。
5. 氏名や住所等を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字（なければカナ）を入力すること。
6. 個人情報入力画面の音楽学習歴欄の入力は、大学での授業に含まれる発表会を省略してもよい。学歴・音楽学習歴・賞罰欄が不足する場合は、各自で別紙（任意様式）を作成し、**3**の必要書類（12 ページ参照）とともに本学に必ず提出すること。
7. 入学手続書類送付先住所は、最終合格者への書類送付時の宛先となる。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）とすること。

2 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、**1**インターネット出願登録完了後に行う。インターネット出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの方法で支払い手续をする。

- ① インターネット出願登録完了後「引き続き支払う」をクリックし、支払う。
- ② 「インターネット出願サイト」のトップページの「ログイン」からマイページにログインして「お支払い」をクリックし支払う。

入学検定料	入学検定料支払期間
36,000円	2025年7月25日(金) 10:00 ~ 7月31日(木) 23:59

(注) 1. 出願時に国費外国人留学生は入学検定料の支払いは不要。

2. 支払方法によって別途振込手数料が必要な場合がある。

支払い方法	取扱機関等	その他
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン、ミニストップ (Loppi)／ファミリーマート／デイリーヤマザキ／セイコーマート	志願者本人の名義でなくても構わない。
クレジットカード	MUFGCARD／DC／UFJ／NICOS／VISA／Master Card／JCB／AMERICAN EXPRESS	
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM	
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング／PayPay 銀行／楽天銀行／住信 SBI ネット銀行／au じぶん銀行	

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続き完了メールが届く。

【入学検定料に係わる注意事項】

1. 支払手続きに関する詳細・注意点等については、「インターネット出願サイト」のトップページ「支払い方法」を参照して確認すること。
2. 支払期限が過ぎると入学検定料を支払うことができない。
3. 支払期限までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは削除されるので注意すること。
4. 入学検定料の支払いが完了していない場合、「マイページ」から出願に必要な書類等は印刷できない。
5. クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。カード名義は志願者本人でなくても構わない。
6. クレジットカードでの支払いができない場合は、他のカードで決済するか、別の決済手段で支払うこと。
7. 出願時に「国費外国人留学生」は入学検定料の支払いは不要である。
ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学に発行を依頼し、**3**の必要書類(12ページ参照)とともに本学に必ず提出すること。
8. 誤って複数回検定料を支払ってしまった場合は、すみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。

【入学検定料免除制度について】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。

申請時期などの詳細は本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)を確認すること。

①提出書類

- ◇入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ◇罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

②注意事項

- ◇インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ◇詳細は本学ホームページ上の「入試情報サイト」で確認すること。

(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

東京藝術大学学生課入学試験係

TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763

E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還について】

出願を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合（ただし、出願する学科・専攻において必要書類がない場合を除く）

該当する場合の返還請求の方法は以下のとおりとする。

本学所定の用紙「検定料返還請求願（学部・別科・修士・博士用）」を本学「入試情報サイト」上「各種様式」ページよりダウンロードし、必要事項を記入して、東京藝術大学財務会計課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）まで郵送すること。

（注）・大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた金額である。

- ・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。
- ・返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
- ・返還請求願提出期限 2026年3月31日（火）（消印有効）

上記期限までに提出がない場合、返還は行わない。

③ 必要書類の送付

必要書類の送付は、入学検定料の支払完了後に行う。「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付すること。

その封筒に出願する専攻・研究分野に応じた必要書類を入れて、必要書類受付期間に本学へ郵送すること。

なお、別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。また、アップロードを指定されている必要書類については、指定された書式・データ形式でアップロードすること。

出願時必要書類提出に際して用意する「封筒及び封筒貼付用宛名シート」について	
封 筒	市販の角型 2 号封筒 (240mm×332mm) を各自で用意
封筒貼付用宛名シート	「マイページ」より印刷

必要書類	要領等	備考
① 出願資格を証明する書類	出願資格を証明する書類として、次の 2 点を用意すること。 ・成績証明書 ・卒業（卒業見込）証明書（または卒業証書の写し） 出身大学長または学部長が証明したもの。なお、日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。	全員提出 ただし、本学音楽学部 の卒業生・在学 生は不要
②～⑬ 受験曲目提出用紙	以下の志願者は本学「入試情報サイト」の各種様式のページよりダウンロードし、必要事項を記入し提出すること。 (1) ②声楽専攻, ③オペラ専攻, 器楽専攻 (④ピアノ, ⑤オルガン, ⑥弦楽, ⑦管打楽, ⑧打楽器のセッティング図、使用楽器のリスト, ⑨室内楽, ⑩古楽), 邦楽専攻 (⑪尺八, ⑫能楽囃子) 志願者 (2) 音楽教育研究分野志願者のうち「楽器等の実技試験」を「②声楽」, 「器楽 (⑬ピアノ・⑤オルガン・⑥弦楽・⑦管打楽・⑧打楽器のセッティング図、使用楽器のリスト・⑩古楽) , 「邦楽 (⑪尺八・⑫能楽囃子) 」で受験する者	該当者のみ提出 志願する専攻・研究分野に該当する 受験曲目提出用紙を提出
⑭ 実技担当教員希望届 (声楽専攻・オペラ専攻)	提出は、声楽専攻・オペラ専攻志願者、音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を「声楽」で受験する者。本学「入試情報サイト」の各種様式のページよりダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。	該当者のみ提出
⑮ 志望理由書	提出は、器楽専攻 (弦楽) 及び邦楽専攻志願者。本学「入試情報サイト」の各種様式のページよりダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。	
⑯ 演奏作品楽譜 (古楽研究分野)	提出は、古楽研究分野志願者。他必要書類とは別便で郵送すること。詳細は本冊子 36 ページを参照すること。	
⑰ DVD-R (指揮専攻)	提出は、指揮専攻志願者。受験者本人の指揮により課題曲を録画・録音した DVD-R を提出すること。詳細は本冊子 40 ページを参照すること。	
⑱ 研究計画書 (音楽学研究分野)	提出は、音楽学研究分野志願者。PDF ファイルを「インターネット出願サイト」にアップロードすること。詳細は本冊子 43 ページを参照すること。	

⑱ 研究計画書 (音楽音響創造研究分野)	提出は、音楽音響創造研究分野志願者。様式は本学「入試情報サイト」の各種様式のページよりダウンロードすること。詳細は本冊子 45 ページを参照すること。	該当者のみ提出
⑲ 作品あるいは論考 (音楽音響創造研究分野)	提出は、音楽音響創造研究分野志願者。他必要書類とは別便で郵送すること。詳細は本冊子 45 ページを参照すること。	
⑳ その他	(1) 日本に在住している留学生は、市区町村役所で発行された「住民票（在留資格、在留期間が明記され、3 カ月以内に発行されたもの）の写し」を提出すること。（本学在学生及び本学国費外国人留学生は不要） (2) 日本政府国費留学生は、(1)に加えて、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生証明書（在籍身分、留学期間明記のもの）」を提出すること。 (3) 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書を提出すること。 (4) 成績証明書について、編入学などにより4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校についての成績証明書を提出すること。	

必要書類郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部学生募集係

【必要書類に係わる注意事項】

- ・ 室内楽研究分野をグループで受験する場合も、必ず個々に出願すること。
- ・ 日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。（公的機関の証明は不要。出願者が訳したもので構わない。）
- ・ 郵送された必要書類の受領確認に関する問い合わせは受け付けない。
- ・ 推薦書等、本研究科が指定していない書類は一切提出しないこと。
- ・ 証明書類等はすべて原本を提出すること。
- ・ 提出された書類は基本的に返却しない。再発行不可能な証明書等の原本を本学に提出し、返却を希望する場合は、配達記録が残る手段（レターパック、簡易書留等）で返却するので、必要な料金の切手を貼った封筒等を必ず同封すること。
- ・ 出願受理後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・ その他、必要に応じて証明書等の提出を本学が求める場合がある。
- ・ 証明書等は発行元の封筒から出して提出すること（発行元の封筒は提出不要）。

**2027年度外国人留学生のための東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)
入試における必要書類の追加について（予告）**

● 予 告

2027年度入試から、必要書類に「日本語能力に関する証明書」を追加する。

必要書類	要領等	備考
日本語能力に関する証明書 (音楽音響創造研究分野以外の志願者)	本学での研究を遂行するにあたり十分な日本語能力を保持する旨を証明する書類(日本語学校の成績証明書、日本語能力検定試験認定書の写し等)。	該当者のみ提出 ただし、本学音楽学部 の卒業者・ 在学生は不要
日本語能力に関する証明書 (音楽音響創造研究分野)	N2 か N1 の日本語能力検定試験認定書の写し。	該当者のみ提出 ただし、本学音楽学部 の卒業者・ 在学生は不要

4 受験票の印刷

受験票は、出願受理後に「マイページ」から印刷できるようになる。受験票の印刷ができるようになると、登録されたメールアドレスに受験票印刷準備完了の通知メールが届く。志願者が各自でA4サイズの普通コピー用紙（白色）にカラー印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日に持参すること。

受験票の印刷可能開始日時：2025年8月28日（木）16：00以降

受験票印刷の手順

- ① 出願時登録したメールアドレスに、「受験票印刷可能メール」を受信していることを確認する。
▼
- ② 「インターネット出願サイト」 (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>) にアクセス。
▼
- ③ 「マイページ」にログインする。
▼
- ④ 画面上の「受験票」をクリックし、表示された受験票ファイルをパソコンに保存する。受験票はA4サイズの普通コピー用紙（白色）に**カラー印刷**すること。（白黒印刷は不可。）

【受験票に係わる注意事項】

1. 受験票印刷後、記載内容について必ず確認すること。出願申込時に登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合、受験票の印刷可能開始日時になっても受験票が印刷できないようにならない場合は、2025年8月29日（金）17：00までに音楽学部学生募集係へ連絡すること。（登録内容はインターネット出願サイトの「マイページ」にログイン後、「申込内容を確認する」で照会できる。）
連絡先：東京藝術大学音楽学部学生募集係
TEL：050-5525-2309（月～金 9:00～12:15,13:30～17:00）
休業期間：土曜・日曜・祝日および2025年8月9日（土）～2025年8月17日（日）
2. 試験当日はカラー印刷した受験票が必要となる。出願登録した際の受付番号、スマートフォン等の受験票の画像では受験できない。
3. インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なる。
4. 出願登録完了後にメールアドレスを変更すると、受験票印刷準備完了の通知メールが届かないので注意すること。
5. 三味線音楽研究分野の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として通し番号で受験番号をふる。

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園 12-8

- 試験場（東京藝術大学音楽学部）案内図



〔交通機関〕 (J R) 山手線・京浜東北線 上野駅(公園口)・鶯谷駅下車 徒歩約10分
(東京メトロ) 銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩約15分
千代田線 根津駅下車 徒歩約15分
(京成電鉄) 京成上野駅下車徒歩15分

10. 合格者発表

第1次合格者発表（指揮専攻）：2025年9月15日（月）14時以降本学「入試情報サイト」において発表する。

最終合格者発表（全専攻）：2025年9月30日（火）14時以降本学「入試情報サイト」において発表する。※音楽学部内の掲示は行わない。

最終合格者には、2026年2月19日（木）（予定）に入学手続書類を郵送する。

※宛名は日本国内に限るため、日本国外在住者は日本国内の代理人を指定すること。

※合格したにもかかわらず入学手続書類が2026年2月25日（水）までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡すること。

※入学の条件は以下のとおりである。

- ①指定期日に所定の入学手続きを完了すること。
- ②2026年3月大学卒業見込で受験し最終合格した者は、大学を卒業していること。
- ③独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請している者は、学位が授与されていること。

11. 入学手続き等について

(1) 入学手続き日

郵送受付：2026 年 3 月 6 日（金）必着

(2) 郵送先

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

(3) 入学料等の支払

入学料 338,400 円（予定額）（国費外国人留学生は支払不要）

入学手続き終了者が 2026 年 3 月 31 日（火）までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。

※参考までに、入学者には上記入学料以外に次のような経費が必要となる。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円（2 年間分）、学研災付帯賠償責任保険料 680 円（2 年間分）
- ・ 音楽教育振興会費 40,000 円
（音楽教育振興会：音楽学部の教育研究，学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
- ・ キャンパス環境整備費支援会費 50,000 円
（本学のキャンパス環境の充実を図るため，本学の施設整備費等に対し助成を行う会で
す。本趣旨にご賛同の上，ご協力（ご入会）をお願いします。（会費入学時のみ支払／修了まで有効））

※授業料について

授業料：前期分 321,480 円，後期分 321,480 円（年額 642,960 円）〔予定額〕（国費外国人留学生は支払不要）

（注）1. 授業料支払方法は口座振替（自動引落）による。2026 年度授業料の口座振替日は，前期分 5 月下旬，後期分 11 月下旬の予定である。

2. 在学中に授業料改定が行われた場合，改定時から新授業料が適用される。

12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

東京藝術大学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度がある。希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行うこと。

なお、入学料・授業料支払後の各種申請はできないので注意すること。また、入学料免除については申請要件を満たしても免除されとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料支払の準備は事前に十分に行っておくこと。

免除・猶予の申請要件は次のとおり。

(1) 入学料免除

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ ①に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 授業料免除

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合

(4) 授業料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

入学料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_defferal_admission

授業料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_defferal_tuition

13. 修学支援奨学金（給付型）について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、「学業優秀と認められる場合」に該当せず上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期 5 万円（年額 10 万円・返済義務なし）を給付する奨学制度がある。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要がある。

14. その他

(1) インフルエンザ等罹患患者への対応について

(学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項)

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

(2) 在留資格の取得手続きについて

①査証（ビザ）申請について

- ・日本への入国用査証申請は、入学手続きとは別に入学希望者が本人の責任で行ってください。
- ・受験目的で「短期滞在」査証を利用しての入国は認められますが、入学が決定した場合は、入学までに必ず「留学」査証を取得してください。

②「短期滞在」査証を利用して入国した場合の査証変更手順

- ・「短期滞在」で入国後に、日本国内で査証種別を変更することはできません。
- ・一度帰国のうえ在留資格認定証明書（COE）の申請を行い、交付されたら母国の日本大使館・領事館で「留学」査証を取得してください。

③COE 代理申請について

- ・COE の代理申請を東京藝術大学が行うことを希望する合格者は、入学手続き時に所定の書類を提出してください。

④責任範囲

- ・在留資格の審査は法務省が行い、査証（ビザ）の発給可否は申請者の母国にある日本大使館・領事館が判断します。不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

⑤注意事項

- ・COE は重複申請できません（他大学で申請中、または既に有効な COE をお持ちの場合など）。重複申請があると証明書は発行されません。すでに申請中の機関には取消しを依頼してください。
- ・COE の交付には 1～3 か月かかります。

(3) 奨学金支給期間について

現在、国費外国人留学生である者が本学大学院音楽研究科（修士課程）に入学し、その在学中に奨学金支給期間が満了した場合、すべての者に対して支給期間の延長が認められるとは限らない。成績優秀者が所定の選考を経たのち、支給期間の延長が認められるにすぎないので十分注意すること。なお、その他の奨学金に関する詳細は、音楽学部学生募集係に照会すること。

15. 試験科目および合否判定基準

(「16. 試験内容および課題曲等」参照のこと)

専 攻	研究分野	試験科目	
		専 門 試 験	面 接
作 曲	作 曲	1. 作品審査 2. 筆記試験 3. 口述試問	×
声 楽	声 楽	1. 歌唱実技試験 2. 初見視唱 3. ピアノ演奏 4. 小論文	○
オ ペ ラ	オ ペ ラ	1. 歌唱実技試験 2. オペラ適性検査 3. 初見視唱 4. ピアノ演奏 5. 小論文	○
器 楽	ピ ア ノ	1. 実技試験	○
	オ ル ガ ン	1. 実技試験	○
	弦 楽	1. 実技試験	○
	管 打 楽	1. 実技試験	○
	室 内 楽	1. 実技試験	×
	古 楽	1. 実技試験	○
指 揮	指 揮	1. DVD 審査 2. 実技試験 3. ピアノ実技試験 4. 音楽一般に関する試問	×
邦 楽	全研究分野	1. 実技試験	○
音 楽 文 化 学	音 楽 学	1. 音楽学 2. 口述試問	×
	音 楽 教 育	1. 専攻論文 2. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1)(作曲, 声楽, 器楽, 邦楽の各専攻, または音楽文化学専攻音楽学研究分野のいずれか一つを選択し受験する。) 3. 口述試問	×
	音 楽 文 芸	1. 専攻論文 2. 口述試問	×
	音楽音響創造	1. 筆記試験 2. 口述試問	×

※過去2年分の入試問題は、音楽学部学生募集係で閲覧できる。
 ※課せられた試験科目を1つでも受験しなかった者は、失格(不合格)となる。
 ※合否判定における順位付けは次頁の表に定める方法で行う。

合否判定 専攻 研究分野		評価基準及び合否判定における順位付け
作曲	作曲	作品審査・筆記試験・口述試問 [採点者数×2 点] の高得点順
声楽	声楽	専攻実技 [100 点] の高得点順
オペラ	オペラ	専攻実技 [100 点] の高得点順
器 楽	ピアノ	専攻実技 [100 点] の高得点順
	オルガン	専攻実技 [100 点] の高得点順
	弦楽	専攻実技 [100 点] の高得点順
	管打楽	専攻実技 [100 点] の高得点順
	室内楽	専攻実技 [100 点] の高得点順
	古楽	専攻実技 [100 点] の高得点順
指揮	指揮	第一次合否判定：DVD 審査 最終合否判定：専攻実技 [100 点] の高得点順
邦楽	全研究分野	専攻実技 [100 点] の高得点順
音楽文化学	音楽学	専攻論文（口述試問を含む。）[100 点]，音楽学 [100 点] の合計点 [200 点] の高得点順
	音楽教育	専攻論文（口述試問を含む。）[100 点] の高得点順
	音楽文芸	専攻論文（口述試問を含む。）[100 点] の高得点順
	音楽音響創造	専攻論文（口述試問を含む。）[100 点] の高得点順

16. 試験内容および課題曲等

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
作曲	作曲	(イ) 作品審査 以下に定める作品等を 2025 年 8 月 22 日（金）正午までに直接又は郵送により音楽学部学生募集係に提出すること。 [提出を要する作曲作品について] 二管編成以上の管弦楽作品およびアンサンブル作品（演奏者 2 名以上 10 名以内で、声楽を含む場合も可）から、それぞれ 1 曲ずつの楽譜を提出する。 (ロ) 筆記試験 日本語による、作曲の基礎的な知識に関する筆記試験。（試験時間 90 分） （注）筆記試験では辞書の使用を認めるが、使用できるのは言語系の紙媒体の辞書 1 冊に限る。音楽事典など、言語系以外の辞書は使用不可とする。 (ハ) 口述試問 提出した上記作品および作曲に関する口述試問を日本語で行う。

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
声楽	声	ソプラノ (S)	提出曲 志願者は、以下の A, B, C の各分野より 2 曲ずつ、計 6 曲を選び、受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入し、提出すること。 A 分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B 分野：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教的独唱曲。バロック・オペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C 分野：歌曲。 ※オペラ、オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが、移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。 ※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙の「イロハニホヘ」の記号で行うので、そのコピーを当日持参すること。 試験内容 ①歌唱実技試験 提出された曲目の A, B, C の各分野より 1 曲ずつ、本学が試験当日に記号で指定するので、指定された 3 曲を 9 分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲、適宜カットして良い）。演奏曲順は自由。ただし、音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」において声楽を選択する者は、本学が試験当日に記号で指定する 1 曲を暗譜で演奏すること。 ※演奏はピアノ伴奏とし、志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ②初見視唱 ③ピアノ演奏 自由曲 1 曲：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から、任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが、評価上不利になるものではない。 ④小論文 当日出題するテーマについて、日本語で記述する。 ⑤面接
	楽	メゾソプラノ (Ms) アルト (A) カウンターテノール (Ct) テノール (T) バリトン (Br) バス (B)	

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
オペラ		ソプラノ (S)	提出曲 志願者は、以下の A, B, C の各分野より 2 曲ずつ、計 6 曲を選び、受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入し、提出すること。 A 分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B 分野：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C 分野：歌曲。 ※オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが、移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。 ※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙の「イロハニホヘ」の記号で行うので、そのコピーを当日持参すること。 試験内容 ①歌唱実技試験 提出された曲目の A, B, C の各分野より 1 曲ずつ、本学が試験当日に記号で指定するので、指定された 3 曲を 9 分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲、適宜カットして良い）。演奏曲順は自由。 ②オペラ適性検査 任意のオペラからレチタティーヴォ付きアリアを 1 曲選び（曲目提出の必要はない）、原語・原調で、また暗譜のうえ演技付きで演奏する。演奏時間は制限しないが、当日試験官が演奏箇所を指定する場合がある。助演は認めない。なお、テーブル・椅子の用意はあるが、小道具については各自用意のうえ使用を可とする。 ※以上の①，②の演奏はピアノ伴奏とし、志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ③初見視唱 ④ピアノ演奏 自由曲 1 曲：ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から、任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが、評価上不利になるものではない。 ⑤小論文 当日出題するテーマについて、日本語で記述する。 ⑥面接
	オ	メゾソプラノ (Ms)	
		アルト (A)	
	ペ	カウンターテノール (Ct)	
		テノール (T)	
ラ	ラ	バリトン (Br)	③初見視唱 ④ピアノ演奏 自由曲 1 曲：ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から、任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが、評価上不利になるものではない。 ⑤小論文 当日出題するテーマについて、日本語で記述する。 ⑥面接
		バス (B)	

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	ピ ア ノ (P f)	◎注意事項 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 以下 (A) (B) (C) の曲目で合計 25 分以上のプログラムを提出し演奏する。 (A) J. S. Bach, Haydn, Mozart, Beethoven の作品より 1 曲 (B) (イ) Chopin の練習曲より 1 曲 (ロ) Chopin 以外の作曲家の練習曲より 1 曲 (C) 自由曲 I) 演奏はすべて暗譜とすること。 II) 当日、時間の都合により一部省略させることがある。 (ロ) 面接 ピアノを専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
器 楽	オルガン (O r g)	◎注意事項 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 以下 (A) 及び (B) の演奏をする。 (A) 専攻実技課題曲 (1) J. S. Bach : Trio Sonate BWV525 から 530 の中から任意の一曲 (全楽章) (2) J. S. Bach : 大規模な「前奏曲とフーガ」, 「幻想曲とフーガ」, 「トッカータとフーガ」の中から任意の一曲 (3) 以下から任意の一曲 : ①F. Liszt : Präludium und Fuge über den Namen B-A-C-H, ②M. Reger : Phantasie und Fuge über den Namen B-A-C-H ③Ch. M. Widor : 任意の Symphonie から急楽章を含む任意の複数楽章 (演奏時間が20分を超えないこと) ④L. Vierne : 任意の Symphonie から急楽章を含む任意の複数楽章 (演奏時間が 20 分を超えないこと) *時間の都合で一部省略させる場合がある。 *試験に使用するオルガンの仕様については以下を参照のこと。 (B) 通奏低音実技 数字付き低音課題を初見で演奏する。なお, 当日 10 分間の試奏時間を与える。ただし, 書き込みはできない。 ※実技試験の行われるオルガンで, レジスタータイム (リハーサル) を 2 回与える。 (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。 (次ページへ続く)

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等		
器 <				

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	弦 楽	◎弦楽研究分野共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。 ○「受験曲目提出用紙」及び「志望理由書」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 1. 次の中から任意の1曲(全曲) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L. v. Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J. Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F. Mendelssohn : Concerto E minor Op.64 (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 次の中から任意の1曲(全曲) J.S.Bach : Solo Suites No.1 G major BWV1007 No.2 D minor BWV1008 No.3 C major BWV1009 No.4 E flat major BWV1010 2. 次の中から任意の1曲 (1) B. Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シュルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W. Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章) (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.4, No.5, No.6 より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 次の中から任意の1曲 (1) J. Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A. Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R. Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E. Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D. Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章) (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude 2. 次の中から任意の1曲(全楽章) (1) K. D. Dittersdorf : Concerto E major (2) J. B. Vanhal : Concerto D major (3) G. Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G. Bottesini : Concerto No.2 B minor (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 次の中から任意の1曲 (1) C. P. E. Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) (2) G. F. Händel : Concerto (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。伴奏なし。) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章) (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 管 打 楽	木 管	◎管打楽研究分野共通注意事項 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○志願者は譜めくりをする者を同伴しても良いが、受験者同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○特に指定のないものは、全楽章とする。 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 下記の a) または b) より任意の 1 曲を選択し演奏すること。 (カデンツァを含む) a) W. A. Mozart : Konzert G-Dur K.313 b) W. A. Mozart : Konzert D-Dur K.314 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を 1 曲演奏すること。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 以下2曲を演奏すること。 ・ Mozart : Concerto in C major for Oboe and Orchestra KV 314 (Bärenreiter 版) 全楽章暗譜 ・ G.P. Telemann : Twelve Fantasias for transverse flute without bass より No.1, No.7, No.9 全曲暗譜 2. オーケストラ・スタディ a) Rossini : Die Seidene Leiter b) Brahms : Violinkonzert D-Dur (『V. Miller, W. Liebermann (編) : Orchesterprobispiel: Oboe / Englischhorn / Oboe d'amore (Peters)』を使用すること) ※演奏箇所は当日指定する。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 (演奏順は任意とする。) 1. 課題曲 以下の両方を演奏すること。ただし Mozart は暗譜とする。 W. A. Mozart : Konzert A-Dur K. 622 H. Hepp, A. Rohde (編) : Orchesterprobispiel : Klarinette / Hohe Klarinette / Bassklarinette (Peters) より L. v. Beethoven : Sinfonie Nr. 6 第 1, 2 楽章 2. 自由曲 (任意による 1 曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 W. A. Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による 1 曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 J. Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による 1 曲) 3. 初見視奏 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
器 管 打 楽 管		金 打 管	(イ) 実技試験 - 次の中から任意の1曲を選択し、演奏すること。 W. A. Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より 第1楽章 W. A. Mozart : Konzert Nr.3 Es-Dur K.447 より 第1楽章 (カデンツァを含む) W. A. Mozart : Konzert Nr.4 Es-Dur K.495 より 第1楽章 (カデンツァなし) - 自由曲 任意の無伴奏現代曲1曲 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			(イ) 実技試験 - 課題曲 H.Tomasi : Concerto 全楽章 - 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 J. W. Hertel : Concerto No. 1 in E$\flat$ Major 第1, 2楽章 G. Ph. Telemann : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) L. Mozart : Concerto in D 全楽章 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			テナートロンボーン (T T$\flat$) (イ) 実技試験 - 課題曲 F. Martin : Ballade (Universal Edition) G. Ch.Wagenseil : Concerto* (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。 - 自由曲は課さない。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			バストロンボーン (B T$\flat$) (イ) 実技試験 - 課題曲 T. Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) - 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			ユーフォニアム (E u p h) (イ) 実技試験 - 課題曲 J. Horovitz : Euphonium Concerto (Novello) - 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			チューバ (T u) (イ) 実技試験 - 課題曲 R. Vaughn Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) - 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 管 打 楽	打 楽 器 (P c)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 F. Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による 1 曲) ※出願時に、打楽器のセッティング図、使用楽器のリストを提出すること。 ※自由曲の使用楽器について、こちらから問い合わせをする場合がある。 ※自由曲の変更をお願いする場合がある。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 室 内 楽	◎室内楽研究分野共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏) ○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○ピアノを個人で受験する場合、共演する楽器はヴァイオリン限定とする。 ○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。	
	弦 楽 四 重 奏	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18 の1-6 2. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59 の1, 2, 3, Op.74, Op.95 3. 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)
	三 重 奏 ピアノとヴァイ オリンとチェロ	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 2. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Fauré, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 3. 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)
	二 重 奏 ピアノとヴァイ オリン, ヴィオ ラ, チェロ	I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。 ① ヴァイオリンとピアノの二重奏 A 群 Beethoven:Sonaten für Klavier und Violine(全10曲)より 一曲選択(全楽章) B 群 以下のソナタより一曲選択(全楽章) Schubert:Fantasie für Violine und Klavier Op.159,D 934 Brahms:Sonate für Klavier und Violine G-dur Op.78 Brahms: Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.100 Brahms: Sonate für Klavier und Violine d-moll Op.108 Strauss: Sonate für Klavier und Violine Es-dur Op.18 Schumann: Sonate für Klavier und Violine a-moll Op .105 Franck: Sonate pour violon et piano Fauré:Sonate pour violon et piano No.1 Op.13 C 群 A,B 群の作曲家と時代の異なる作曲家のヴァイオリンとピアノの二重奏作品 ② ヴィオラとピアノの二重奏 A 群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Op.5-3 Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Märchenbilder Op.113 B 群 Bowen : Sonata for Viola and Piano No.1 Op.18 R. Clarke : Sonata for Viola and Piano Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier, 1939 Shostakovich : Sonata for Viola and Piano Op.147 C 群 A,B 群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品 (次ページに続く)

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	二重奏 ピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	③ チェロとピアノの二重奏 A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B群 Shostakovich : Sonata for Violoncello and Piano in d Op.40 Prokofiev : Sonata for Violoncello and Piano Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for Violoncello and Piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano C群 A,B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品 II 個人で受験する場合 各楽器とも以下の1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。 ① ピアノ 1. Chopin:Etudes Op.10,Op.25 より3曲選択する。内訳は、以下の3つの群より1曲ずつとする。3曲を準備して、当日抽選によりその中から2曲を演奏する。 a群 Op.10-2, 10-7, 25-4, 25-6, 25-8, 25-10, 25-11 b群 Op.10-1, 10-4, 10-5, 10-8, 10-12, 25-12 c群 Op.10-10, 10-11, 25-3, 25-5, 25-9 2. 前記のグループ受験課題曲 <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏A群</u>の中から任意の1曲。 3. <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏B群</u>から任意の1曲。 ② ヴァイオリン 1. 次の中から任意の1曲(全楽章) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲 ③ ヴィオラ 1. J.S.Bach : Solo Suites の中から No.1(BWV1007), No.2(BWV1008), No.3(BWV1009), No.4(BWV1010)より1曲を選び、Prélude,Allemande,Courante を演奏すること。 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲 ④ チェロ 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲
	二重奏 ピアノとフルート	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. Schubert : Introduktion und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonata for Flute and Piano in D Op.94 3. Isang Yun : "Garak" for Flute and Piano (個人での受験は認めない)
	木管五重奏	グループ受験の課題曲は以下のとおりとする。 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 A群 Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 B群 Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jean Françaix : Quintette (個人での受験は認めない)

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	古	◎古楽研究分野共通注意事項 1) 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 2) 鍵盤楽器以外の志願者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック声楽志願者で必要なオブリガート楽器や、バロックヴァイオリン分野のコンチェルトのオーケストラパートは、チェンバロで代用すること。 3) チェンバロ分野、バロックオルガン分野、バロックチェロ分野の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 4) すべて課題曲の演奏順は自由とする。当日は、曲目提出用紙に記入した順に演奏すること。 5) 選択型の課題曲の場合、過去の年度に受験したことがある者はその時と重ならないように選択することを推奨する。 6) 演奏する作品の楽譜すべてをコピーし、A4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願と共に提出すること。 7) ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、以下の2台である。 ① a'=415 のフレンチタイプ（音域 FF-f^{'''}, 8'8"4' ヤング第2調律） ② a'=415 のイタリアンタイプ（音域 C/E-c^{'''}, 分割鍵盤 split-sharps あり, 8'8" ミーントーン調律） ※なお、伴奏のために a'=440 のフレンチタイプ（音域 FF-f^{'''}, 8'8"4' ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。 8) フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430 の18世紀末ウィーン式モデル（音域 FF-g^{'''}）である。 9) チェンバロ分野、フォルテピアノ分野の志願者には、実技試験の行われる楽器で演奏する時間を事前に1回与える。 10) バロックオルガン分野の志願者については、下記の点に留意すること。 ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスプレイーションについては、オルガン研究分野の項（29ページ）を参照のこと。
	バロック声楽 (BV○)	(イ) 実技試験 1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、15分～20分程度のプログラムを構成し演奏する。 [伴奏楽器はチェンバロ（◎古楽研究分野共通注意事項参照）のみとする。移調等による基準ピッチの選択は採点に影響しない。] ①イタリア初期バロック期の独唱曲。 例) G.Caccini, C.Monteverdi, S.D'India, G.Frescobaldi の作品 ②J.S.Bach のレチタティーヴォ付きアリア、またはアリアのみ ③上記①②で選択しなかった作曲家による1800年までの独唱曲 [プログラム全体の中に伊・独・仏・英語のうち少なくとも2つの言語の歌詞が含まれているように留意すること。またプログラムの中にレチタティーヴォ（ないしはレチタールカンタン様式の作品）が1つは含まれていること。] 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由及び専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器	古	(イ) 実技試験 1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、25分程度のプログラムを構成し演奏する。楽章の選択、繰り返しは自由とする。 ①無伴奏曲 例) J.S.Bach : Sei Solo à violino BWV1001-1006, G.P.Telemann : 12 Fantasien, J.P.Westhoff : 6 Suiten, J.H. Roman : Assaggi, etc. ②フランスの「通奏低音付きソロ作品(ソナタ、コンセール、組曲等)」 例) J-M.Leclair, F.Couperin, J-F.Rebel, F.Francœur の作品 ③イタリアまたはドイツの「通奏低音付きソナタ」または「コンチェルト」 例) A.Corelli, A.Vivaldi, C.A.Lonati, G.F.Handel, F.Geminiani, J.S.Bach, F.Benda の作品 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由及び専門分野に関する簡単な試問
	楽	(イ) 実技試験 1. 次の①②を演奏する。 ①Geminiani : Sonate op.5 より第6番(全楽章、繰り返しは自由) ②J.S.Bach : Suite a violoncello solo senza basso No.1~4 (BWV 1007-1010) から任意の組曲を選び、プレリュード以外の楽章を演奏する(繰り返し省略)。 [楽器・弓とも原則としてバロック仕様のもの、ガット弦を使用すること。A線・D線はプレーンガット以外の使用は認めない。基準ピッチはa'=415とする。①に関してはチェンバロ奏者とともに演奏すること。] 2. アンサンブル課題： J.M.Leclair : 通奏低音つき Violin sonata op.5 より第7番イ短調の第1楽章および第2楽章を、本学の用意したソロ奏者と、志願者が同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。 3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
器 楽	古	リ コ ー ダ ー (R e c)	(イ) 実技試験 1. 次の①～④を演奏する。 ①A. Virgiliano : “IL DOLCIMELO”より任意のリチェルカータ1曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。 管の種類及びピッチ、移調は自由。] ②J. -M. Hotteterre : 作品2 (1715 年の第2 版)又は作品5 (1715 年) より任意の組曲1 曲(全楽章) [ヴォイス・フルート使用の場合は原調、F 管アルト・リコー ダー使用の場合は適した調性に移調すること。ピッチはa'= 415] ③J. S. Bach : Partita イ短調 BWV1013 より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調、F 管アルト・リコー ダー使用の場合はハ短調に移調して演奏、ピッチは指定しな い。] ④ A. Vivaldi : 協奏曲 RV441, 443, 444, 445 から1 曲(全楽章) [RV441 はF 管アルト、RV443, 444, 445 はF 管ソプラニー ノを使用。ピッチはa'=415] 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問
	楽	チ ェ ン バ ロ (C e m b)	(イ) 実技試験 1. 次の①～⑤を演奏する。 ①次のイ)～ハ) から任意の1 曲 イ) J.P.Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ロ) W.Byrd : Fantasia in a (Musica Britannica XXVII- No.13) ハ) G.Frescobaldi : Capriccio sopra la Bassa Fiamenga ②J.H.d'Anglebert または L.Couperin の任意の Prélude non mesuré を1 曲。 ③次の J.J.Froberger の組曲イ), ロ) のどちらかを選択 イ) 組曲ハ長調 (FbWV 612, Lamento で始まるもの) ロ) 組曲ニ長調 (FbWV 620, Meditation で始まるもの) ※各楽章、前半は繰り返しを行い、後半は繰り返しなしで演奏 する。 ④ J. S. Bach : Toccata fis-Moll (BWV 910) ⑤次のイ)～ニ) から任意の1 曲 イ) J.P.Rameau : La Poule ロ) J.P.Rameau : La Dauphine ハ) A.& J.B.Forqueray : Jupiter ニ) P.Royer : La Marche des Scythes 2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のための アンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間10 分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器	古	(イ) 実技試験 1. 次の①～⑤を演奏する。 ①G.Frescobaldi : Parte sopra la Monicha (“Partite et Toccate”, Libro Primo) ※Mitteltönigwerk を使用すること ②次のイ)～ハ) から任意の1曲。 イ) J.P.Sweelinck : Hexachord Fantasia (F1, SwWV 263) ロ) J.P.Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ハ) J.P.Sweelinck : Echo Fantasia in d (d3, SwWV 260) ③北ドイツ楽派の大規模な Toccata, Praeludium, Praeambulum の中から任意の1曲。 ④N.de Grigny : “Livre d’orgue”の中から, Fugue à 5 を含む連続した4つの楽章 (ほかの作品にまたがってもよい)。 ⑤J.S.Bach : 6つの Triosonate BWV 525~530 の中から任意の1曲 (全楽章) 2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。 (予見打ち合わせ時間 10 分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問
	楽	(イ) 実技試験 1. 次の①～③を演奏する (繰り返しは自由, 計35分以内のプログラムにまとめる)。 ①C.Ph.E.Bach : “Clavier-Sonaten und freye Fantasien nebst einigen Rondos für Kenner und Liebhaber”より, 任意のファンタジアまたはロンドを1曲。 ②W.A.Mozart : クラヴィーアのための変奏曲より, 任意の1曲。 ③L.v.Beethoven : 作品 31 までのピアノソナタより, 任意の1曲 (全楽章)。 2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F.Couperin : 『クラヴサン奏法 L’Art de toucher le clavecin』の8つのプレリュードから任意のプレリュードを1曲。 3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
指揮	指揮	(イ) DVD 審査 出願時に受験者本人の指揮による以下課題曲を録画・録音した DVD-R を提出すること。 課題曲 L.v.Beethoven : Egmont Overture, Op.84 ※指揮者が受験者本人であることを確認できるようにすること。 なお演奏はオーケストラによるものでもピアノ 2 台によるものでも可とする。DVD-R は NTSC または PAL システムによるものとし、DVD-R に受験者氏名及び収録日時を明記すること。 審査後、DVD-R は返却しない。 (ロ) 実技試験（以下の課題曲より、当日指定された部分を指揮する。） J.Brahms : Symphonie Nr.1 Op.68 または Symphonie Nr.2 Op.73 (ハ) ピアノ L.v.Beethoven : Piano Sonata Nr.8 c-moll Op.13 "Pathétique" (二) 音楽一般に関する試問

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等														
邦楽	◎邦楽専攻共通注意事項 ○志願者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。 ○「志望理由書」を出願時提出すること。																
	三味線音楽		イ) 実技試験 <table><tr><th>志願部門</th><th>課題曲</th></tr><tr><td>長唄三味線</td><td>「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)</td></tr><tr><td>常磐津三味線</td><td>「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)</td></tr><tr><td>清元三味線</td><td>「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)</td></tr><tr><td>長唄</td><td>「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)</td></tr><tr><td>常磐津</td><td>「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)</td></tr><tr><td>清元</td><td>「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)</td></tr></table> (注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の志願者は、各自使用する楽器を持参する。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。	志願部門	課題曲	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津三味線	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)	清元三味線	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)	長唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)	清元	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)
	志願部門	課題曲															
	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)															
	常磐津三味線	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)															
清元三味線	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)																
長唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)																
常磐津	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)																
清元	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)																
箏	山田流	イ) 実技試験 箏・箏歌「江の島曲」(山田検校作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。															
曲	生田流	イ) 実技試験 箏「夜々の星」(光崎検校作曲) 「数え唄変奏曲」(宮城道雄作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。															
尺八	イ) 実技試験 琴古流による志願者…… 1. 「真虚霊」(初世黒澤琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」(同上) 3. 「秋田菅垣」(同上) 都山流による志願者…… 1. 「岩清水」(流祖中尾都山作曲) 2. 「寒月」(同上) 3. 「懐月調」(同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。 共通曲…………… 1. 「須磨の嵐」(山登万和作曲) 2. 「御山獅子」(菊岡検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は竹友社発行譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。 ※出願の際は所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。																

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
邦楽	能楽	(イ) 実技試験 観世流または宝生流による志願者…謡曲独吟「山姥クセ」及び仕舞「松風」 ワキ方 下掛宝生流による志願者 …謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による志願者……………小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
	能楽囃子	(イ) 実技試験 1. 笛……………「楽」 2. 小鼓……………「楽」 3. 大鼓……………「楽」 4. 太鼓……………「楽」 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。 ※出願の際は所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦楽囃子	(イ) 実技試験 1. 「賤機帯」（四世杵屋三郎助作曲）（太鼓・大鼓・小鼓・笛）より任意の楽器を選択。 注1）伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 2）楽器は各自持参すること。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
	日本舞踊	(イ) 実技試験 1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。 注1）録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。 2）両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	研究計画書 大学院修士課程における各自の研究について、①修士課程での研究テーマと、そのテーマを選んだ理由、②そのテーマに関連してこれまでに自分が参照した研究等（それに対する自分の評価も含めて書くこと）、および③修士課程における具体的な研究計画（横書き、計 1600 字程度、手書き不可）を日本語で作成し、PDF ファイルに変換して「インターネット出願サイト」に出願時にアップロードすること。 なお、研究計画書には氏名を明記しないこと。
		（イ）音楽学 音楽学の基礎的な知識に関する筆記試験。 （注）試験内容「音楽学」の受験においては辞書の使用を認める。 ただし、使用できる辞書は、言語系の紙媒体の辞書 1 冊のみとする。音楽事典など言語系ではない辞書の使用は認めない。 （ロ）口述試問 音楽学を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽教育	(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽教育研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間) (ロ) 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 【①～⑤のうち1つを選択し受験すること。】 ①「作曲」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『作曲専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。 ②「声楽」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『声楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「①歌唱実技試験」のみ』とする。「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。 ③「器楽(室内楽を除く)」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『器楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「(イ)実技試験」のみ』とする。ただし、ピアノで受験する者の試験課題は、次の通りとする。 以下(A)及び(B)を演奏すること。 (A) ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章) (B) ショパン：練習曲(Op.10またはOp.25)より任意の1曲 (注) 1. 演奏はすべて暗譜とする。 2. 当日、時間の都合により一部省略させることがある。 「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。 ④「邦楽」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『邦楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「(イ)実技試験」のみ』とする。「尺八」および「能楽囃子」を選択した者は「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。 ⑤「音楽学」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『音楽学研究分野における「試験内容および試験曲等」のうち、「(イ)音楽学」のみ』とする。 (ハ) 口述試問 音楽教育を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
	音楽文芸	(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽文芸研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間) (ロ) 口述試問 音楽文芸を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽音響創造	(イ) 筆記試験 出題された音楽音響等に関する設問から選択し、日本語で解答する。(試験時間 2 時間) ※設問の例は以下のとおりである。 ・音像の左右方向の定位は両耳間時間差と両耳間レベル差によって説明できる。音像の上下方向の定位についてはどのような手がかりによって説明できるか。可能な限り多くの手がかりを挙げ、それぞれどのような仕組みで音像定位に寄与しているかを説明せよ。 ・精神物理学の定数を測定する代表的な方法には調整法・極限法・恒常法がある。そのうち一つを選択して、どのような方法かを説明した上で、その特徴について解説せよ。 ・自身の研究を実施するにあたって必要となる実験環境の統制ならびに実験参加者への教示について説明せよ。また、そのように統制・教示する理由についても書け。(研究計画は願書とともに別途送付されているのでここに書く必要はない) ・音楽における間文化性とその芸術的意義を、具体例(作品等)を挙げながら論じなさい。 等 (次ページへ続く)

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽音響創造	(ロ) 口述試問 音楽音響創造において専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。 ※ 出願時に (A) 「研究計画書」及び (B) 「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、他必要書類と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、他必要書類とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「東京藝術大学音楽学部学生募集係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。 (A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を 2000～3000 字で具体的に記述すること。Word 等で作成した文書を所定様式の点線枠内に貼付すること。 (B) 「作品あるいは論考」について 下記 (1), (2), (3) のいずれかを提出すること。(返却しない。) (1) 音楽作品の制作技法を評価の対象として希望する場合 自作品 2～3 点 (*) とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1 作品につき A 4 用紙 4 枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。 (2) 録音技術の評価の対象として希望する場合 既存の曲 (オリジナル作品も可) を自ら録音した作品 (5～10 分程度) 1～2 点 (*) と、それについての日本語による解説。(1 作品につき A 4 用紙 4 枚以内。録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること。) (3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考 (形式は自由) (*) 音のみの作品の場合は CD-R, DVD-R で、映像をとまなう場合は DVD-R, Blu-ray で提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品 (メディア) と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。

17. 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- （１）合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続きに係わる業務で利用する。
- （２）入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- （３）入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- （４）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を１年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- （５）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第 69 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- （１）上記 1.（１）～（５）の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- （２）本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合
 - ⑤キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実に資するため、本学の施設整備費等に対し助成を行う会）

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

② 2026 年度 受験曲目提出用紙〔声楽専攻〕

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

専攻等	声種	受験番号
声楽		※

分野	記号	作曲者	作品名	曲名（原語）	演奏時間
A (オペラ)	イ				
	ロ				

分野	記号	作曲者	作品名	曲名（原語）	演奏時間
B (オラトリオ・バロック)	ハ				
	ニ				

分野	記号	作曲者	作品名	曲名（原語）	演奏時間
C (歌曲)	ホ				
	ヘ				

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 曲名はオペラ・アリアの場合、役名及び冒頭の歌詞を原語で記入すること。
3. 演奏曲は記号（イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ）によって指定するので、この用紙のコピーを試験当日持参して、指定された演奏曲を確認すること。
4. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
5. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
6. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)
氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

③ 2026 年度 受験曲目提出用紙〔オペラ専攻〕
 【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

専攻	声種	受験番号
オペラ		※

分野	記号	作曲者	作品名	曲名（原語）	演奏時間
A (オペラ)	イ				
	ロ				

分野	記号	作曲者	作品名	曲名（原語）	演奏時間
B (オラトリオ・パロッド)	ハ				
	ニ				

分野	記号	作曲者	作品名	曲名（原語）	演奏時間
C (歌曲)	ホ				
	ヘ				

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 曲名はオペラ・アリアの場合、役名及び冒頭の歌詞を原語で記入すること。
 3. 演奏曲は選択群 A, B, C, 指定記号 (イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ) によって指定するので、この用紙のコピーを試験当日持参して、指定された演奏曲を確認すること。
 4. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
 5. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管をすること。

④ 2026 年度
 受験曲目提出用紙
 [ピアノ研究分野]
 【東京藝術大学大学院音楽研究科
 (修士課程) [外国人留学生]】

研 究 分 野	受 験 番 号
ピ ア ノ	※

◎本冊子に定めたとおりの曲目で、必ず25分以上のプログラムを記入すること。

曲 目	作 曲 者 名		曲 名	調 名	演奏時間
(A)					分 秒
(B)	(イ)	C h o p i n			分 秒
	(ロ)				分 秒
(C)	自由曲				分 秒

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
 3. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑤ 2026 年度
 受験曲目提出用紙
 【オルガン研究分野】
 【東京藝術大学大学院音楽研究科
 （修士課程）【外国人留学生】】

研 究 分 野 等	受 験 番 号
オ ル ガ ン	※

(A) 専攻実技課題曲

課題曲	作曲者名	曲 名	調名
(1)	J.S.Bach		
(2)	J.S.Bach		
(3)			

アシスタントの必要の有無 [有 ・ 無] アシスタントは本学が用意する。
 (どちらかに○をつける)

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」をオルガンで受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
 4. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

**⑥ 2026 年度
受験曲目提出用紙
〔弦楽研究分野〕**
【東京藝術大学大学院音楽研究科
(修士課程)〔外国人留学生〕】

楽 器 名 等	受 験 番 号
※	※

(イ) 実技試験

課題曲	作曲者名	曲 名
1		
2		

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を弦楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
3. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること
4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑦ 2026 年度
受験曲目提出用紙〔管打楽研究分野志願者用〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）[外国人留学生]】

楽 器 名 等	受験番号
※	※

2. 自由曲・自由選択曲

楽器名	作 曲 者 名	曲 名	調名

- （注） 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 自由曲及び自由選択曲が課されていない楽器の志願者は提出不要。
3. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を管打楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
4. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
5. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。
6. 管打楽研究分野打楽器志願者および音楽教育志願者で実技を打楽器選択により受験する者は、必要書類⑦「受験曲目提出用紙」と必要書類⑧「打楽器のセッティング図、使用楽器のリスト」を両方提出すること。

(ふりがな)

氏 名

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）[外国人留学生]】

楽 器 名 等	受験番号
※	※

セッティング図, および 使用楽器のリスト (※持ち込み楽器をマルで囲むこと。)	

- (注) 1. セットアップの記入が 1 ページに収まらない場合は、ページを複製して提出すること。
2. 大太鼓・マリンバ等の大型楽器の持ち込みは出来ない。また、楽器の搬入・搬出のために車で大学構内に乗り入れる事は出来ない

(ふりがな)

氏 名

編成	
----	--

※用紙をA4サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

(いずれかに○)

I	個人	
II	グループ	

⑨ 2026年度

受験曲目提出用紙〔室内楽研究分野志願者用〕

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

研究分野	受験番号
室内楽	※

(イ) 実技試験

作曲者名	曲名	調名

☆グループ受験の場合、共演者名を必ず記入すること。

共演者名

1.
2.
3.
4.

(注) 1. ※印欄は、記入しないこと。

2. この用紙は、出願時に必要書類等と一緒に提出すること。

3. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑩ 2026年度
受験曲目提出用紙〔古楽研究分野志願者用〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

楽 器 名 等	受験番号
※	※

1. 実技試験「演奏曲目」
(☒ 志願する楽器名に○を付ける)

楽器名	作 曲 者 名	曲 名 ・ 楽 章 名
バロック 声楽 ・ バロック ヴァイオリン ・ バロック チェロ ・ リコーダー ・ チェンバロ ・ バロック オルガン ・ フォルテ ピアノ		

2. アシスタントの必要の有無 **〔 有 ・ 無 〕** アシスタントは本学が用意する。
(バロックオルガン志願者のみどちらかに○を付けること。)
3. 伴奏用チェンバロとして、 $a'=440$ のフレンチタイプ (音域 FF-f'', 8'8''4 ヤング第2 調律) の使用希望の有無
〔 有 ・ 無 〕
(バロック声楽志願者のみどちらかの○を付けること。)

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を古楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
3. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
4. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

(いずれかに○)

琴古流	
都山流	

⑪ 2026年度
受験曲目提出用紙〔尺八研究分野志願者用〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）[外国人留学生]】

研 究 分 野	受験番号
※	※

琴古流・都山流それぞれの選択曲 2 曲

曲 名	
曲 名	

共通曲 1 曲

曲 名	
-----	--

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を尺八で受験する者もこの用紙を提出すること。
3. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑫ 2026年度
 受験曲目提出用紙〔能楽囃子研究分野志願者用〕
 【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）[外国人留学生]】

研究分野等	受験番号
※	※

該当事項を○で囲むこと。

専攻	相手方	笛	太 鼓
笛（一 噌 流）			有 ・ 無
小 鼓（幸 流）	一 噌 流		有 ・ 無
大 鼓（高安流）			有 ・ 無
太 鼓（観世流）			

- （注） 1． ※印欄は，記入しないこと。
 2． この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
 3． 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を能楽囃子で受験する者もこの用紙を提出すること。
 4． 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑬ 2026 年度
受験曲目提出用紙
〔音楽教育研究分野志願者で「楽器等の
実技試験」をピアノで受験する者〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科
（修士課程）〔外国人留学生〕】

研 究 分 野	受 験 番 号
音 楽 教 育	※

課題曲	作曲者名	曲 名	調名
(A)			
(B)	Chopin		

(注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
3. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

(ふりがな)
氏 名

⑭ 2026 年度
 声楽専攻・オペラ専攻
 実技担当教員希望届

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）
 [外国人留学生]】

専 攻	声 種	受験番号
		※

●指導を希望する教員名を記入すること。

希 望 教 員 名	第 1 希 望	
	第 2 希 望	
	第 3 希 望	

【参考】2025 年度実技担任教員一覧（予定）

佐々木典子	菅 英三子	佐藤ひさら	島崎 智子	森谷 真理
中島 郁子	手嶋眞佐子	高橋 薫子	増田のり子	山下 牧子
木下美穂子	腰越 満美			
吉田 浩之	櫻田 亮	福井 敬	与儀 巧	甲斐栄次郎
萩原 潤	樋口 達哉	鈴木 准	上江 隼人	

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。
 4. 担当教員については変更が生じる可能性がある。

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

楽 器 名	受験番号
	※

[illegible]

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. この用紙は出願時に必要書類等と一緒に提出すること。

(ふりがな)

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑱ 2026年度 研究計画書

〔音楽音響研究分野志願者用〕

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

研究分野	受験番号
音楽音響創造	※

- 〔1〕 研究題目「」
- 〔2〕 入学後の研究計画を 2000～3000 字で具体的に記述すること

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
2. この用紙は，出願時に必要書類と一緒に提出すること。

(ふりがな)